

令和5年度第3回 栃木県立黒羽高等学校 学校運営協議会 議事録

日 時 令和6年2月15日(木) 13時30分～15時00分

場 所 栃木県立黒羽高等学校 図書館

1. 開 会

主幹教諭

2. 学校運営協議会 会長挨拶

会長

3. 校長挨拶

校長

4. 議 事 [進行 会長]

(1) 学校からの説明・意見交換

①今後の部活動のあり方について

(教諭)

※2学級特例校化にあたり①生徒②教職員③活動費の減少が必至のため、部活動数の精選が必要であり、協議会としての意見をお聞きしたいことを説明。

(質疑・意見)

【会長】この場では、どういう方向性を出したらよいか。

【教諭】残す部活と残さない部活を決めていく判断材料としての意見をいただきたい。

【委員】A中学校では4校を統合した際には当初全ての部を存続した。その後、職員のみを委員会を立ち上げ、順次廃部にしていき7つの部にしぼった。団体競技よりも個人競技を多く残した。現在顧問は各部2～3名の顧問がいて、よい状態である。

【会長】黒羽高校で、他校との統合チームで試合に参加している部活動は何か。

【教諭】サッカーと野球と女子バスケット部。

【会長】いずれも団体競技であり、存続は難しくなるのではないか。

【委員】本校に現在ある部活動はいくつか。

【教諭】運動部9部、文化部7部、合計16部。

【委員】面白さや特色をアピールできる部活動優先という観点で、魅力がある部活動を残していく。また、新たに弓道部を作り、地元の中学生にアピールしてもよいのではないか。

※部活動加入状況に関する資料を配布

【委員】資料を見ると、思っていた以上に部活動への加入率が高い。運動部は男子、文化部には女子生徒が多い。加入率が高いが故、この場で具体的な部活動名をあげるのは難しい。

【校長】校内でも検討を続けていくので、意見をいただきたい。

【委員】運動部は選別した方がまとまりできるので減らすのがよいと思うが、地域のスポーツクラブがあればそれらを案内しても良い。文化部は複数の文化部をシーズンなどで統合してはどうか。顧問の負担も減り、生徒は新たな経験もできる。部活動の合併が必要である。

【委員】様々なことに携わらせたい。

【会長】この場で、具体的な部活動をあげるのは難しい。部活動の存在は大きな意味合いを持っているので、生徒・保護者の意見も聞いて、学校ですらに検討して決めてほしい。

【副会長】あじさい祭りでもお世話になっているので、ボランティア部もプッシュ

してほしい。HPで活動をPRすると魅力も出る。

【教頭】この件については、ぜひ全員から意見をいただきたい。

【委員】華道部は昔は部員が多くいた時期もあった。今は人数は少なくなったが、熱心に取り組み、資格を取る生徒もいる。なくすのはさみしい。

【委員】生徒数に対しての加入率が高い。魅力があれば入るのでは。やみくもに減らすのではなく、やり方を工夫する面からも考えるべきである。

【委員】生徒数に対して、部活動の数が多いと感じる。部活を減らすには何年もかかり一気に減らすのは難しい。何かを減らすのはとても難しい。小学校では、平日に教員がかかわるが、土日や夜は社会体育となり教員は入らない。

【副会長】弓道は地域で教えている。

②卒業生の進路状況について 別紙 (教諭)

③令和6年度入学選抜について 別紙 (教頭)

(2) 令和6年度学校基本方針について 別紙 (校長)

【委員】基本方針や努力点における、黒羽高校独自の特色は何なのか。

【校長】本校として推している内容である、ICT・わかる授業・地域連携・ボランティア活動・キャリア教育が入っている。多様性も含めて、全体の土台としてこれを作った。

※委員により承認された。

(3) 学校評価アンケート結果について (主幹教諭)

(4) 学校の魅力化・特色化についての意見交換

【会長】魅力化・特色化の結論がなかなか出ていないのが現状である。特に来年度からは1学年2クラスの特例校となるので、その中での魅力化・特色化はまた難しくなる。ぜひご意見をいただきたい。

- 【委員】アンケートの中で、20番の項目である「本校の先生方は、生徒の健康面やその他の悩みに丁寧に応じている。」に対しての、肯定的回答の割合が高い。1年生と比べると、3年生の方がさらに高い。全職員が、生徒と関わっていることが見える。このことを本校の特色としてはどうか。
- 【委員】「弱い立場の子に優しい」のが本校の特色だと思うが、情報発信がまだ足りない。1学年2クラスの特例校化となり、今後本校をますます魅力あるものとし、どう外部にアピールするか。HPはもう当たり前。これからはX（旧ツイッター）を使って情報発信することが重要ではないか。影響力が大きい。
- 【会長】X（旧ツイッター）を利用するにあたっては、どうすればいいか。
- 【校長】学校のタブレットには制限がかかっており、県による制約もある。
- 【県教委】確認しながら少しずつ進めるのは可。前提は厳しいが、どこまで特例として認めてもらえるか。
- 【校長】学校の機材では制限がある。
- 【委員】やるとしたら同窓会の協力が必要。
- 【副会長】学校で担当者を一人つけられるか。
- 【教頭】前回もそのことが議論となった。どう運用・運営するのか。そこがクリアできれば。
- 【会長】同窓会でやるならばOKであるならば、やってみてはどうか。
- 【校長】県と相談・確認し、不祥事につながらないように前例を参考にしながら、きちんとしたルールと体制を作る必要がある。
- 【委員】県立高校は体制・組織のもとで運営されているので制約があるのは当然である。そのなかでどう取り組めるか、相談しながら進めていくべきである。
- 【会長】まとめとして、制約もあるが、県とやり取りをしながら学校側で検討し、やれる範囲でスタートしてみてもどうか。

5. 閉 会

（主幹教諭）

- 【会長】次回、委員の改選時期に辞退があれば学校に申し出てほしい。辞退する場合は、次の委員を推薦してくれるとありがたい。